## 並木に寄りそって

広島県立竹原高等学校 第1学年 **西**村 妃咲

parameter reserves	and the second second second				-					M. OF STREET, P. P. OF	The Part Coat Hart Coat Annual	A Company of the Comp		-				A SPERSON THE PROPERTY.		
h	(3	9	7	· · · · · ·	Selection of the select	学划	3		5		5	上	学代	L1		13	週	b	19	
あ	樑	0		+	12	A.	ð	4	15		次	Ø	净	ク	風	a	4	るだ	9	13
9	额	凸	F"	3		N	7	2	LI	b u	世	る	9	出	15		Y	概	坪	年
神	10	7"	菱	1	1	コ	を	1"	٥		17	為	是	来	Ø		ŧ	的	R	7"
神風	ね	題	剛	F	回	7	織	不		Manual Comment	^	13	慌	出来事	1		Ls	状	\	42
持	る機	村	3	を	天	乜	()	4	1 1		戦		101	te	图		84	12	溪	て終戦
攻	神	K	反	を当	持	19	少交	1"			戦争	为	色	を蔑	Y		衛派	13	等	101
	神を敵	11	射	1	18	H	H"	(3			0)	を	色機	3	Ļ		10	あ		4
73	商文	9	的	7	攻	0	13	1			Sin	生	X	13	1		(	à	93	t
Y	舟監	73	13	Ü	孳	1	勺	VI			倦	3	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1	-10-1		Ţ	a	懷	
P.	目	-\	は見	7	擊隊	該人		11				7	穀	7	地		13	学	17	10
隊だと思う。少	掛	阖	U.	۵	0		D	該			を語	tu	视	(I	猪人		原件	戦争	海	十三年书
a	H	3	浮	狩	の青年	75	0)	101			')	72	2	b	Ź		什艺	0)	n	老
di	1	g		18	年	太	18	,		Sanday projet day, to be seen	結查	5	帅	101	ts		Z	0) 200	風	ŋ
	神	の命	101	攻	1			史			カバ	12	ね	5	101		2	億	14	月
<	当	を	9	攻擊	並	洋	海山	実			18	17	2	73	5		4	13	9	2
7	75	31	12	隊	並木	美	L	K			it	次	٧	Y	0		1	阳寺		ïd
t} < 2 t	')	ŧ	7	٧	13	平洋戦争	Y	7			h	世	を	と 代 う	鲜		(	Pas	一缝	52
11.	菱	操	永		ス	ŧ	NI.	1			17"	14	を塞	7	争		7	9	ţ	週
以	d	2	水道	ウ	19	背	ク	7			15	19	#/	a	k	4 <u>4 2 4 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 </u>	7	432	弘	

-				*******							- <del></del>	on'm maneritanten							tine of the second second second	
17		速	13.	敌	遠	10	(1	国	15		11	留		- 1	300	早		う	攻	削
13/4	事	<b>ざ</b>	i)	8)	<b>ヹ</b>	()		101	1		学艺	4-44	家	3"	杨		181	疑	擊	0
张	1	17	×	1	17	x	武	4	港		争	7	4	ŧ	揚感	並	紛	Pa	隊	却
然代りを	適	7	僧	て戦	1	冷僧	p	外			11	13	社	捲	治	や並木	(	Y	K	
1)	的	· \ \ 1	1	争	U	(	菱	73	ÜL	Barren M	6	0	8)	1	n		<	興味	13	はそ
菱	T.J	U.	4	13	75	4	13	7	13		7		1	1	h	の複	粪弋	麻	٤,	う
覚	な矢	ŧ	73'	0	101		便	13	17		勇		U)	Ч	3	雅	12	p"	0)	13
え	38	ŋ	H	Ü.	3	101	1	9	13		7		<	2	0)	13	101	が湧	1	7
る	X	10	( -	7	tä	生	净	如	ef .		(		7	13	7"	10	139	ぎ	う	73
る。	命	, <b>y</b>	カト	考	a	1	11				<		1	12	7 8	以情	1)	,	Ti	a
12	1	Y	存	久	12	y	合	敦			书		次		的	描	変	2	部	75
	を重し	٩	在	さ	カバ	す	ク	が戦争			男		9		力で	摘写	h	9	隊	1
が考え	1"		(	さ せ	2	2	毛	13			5		4		感		る		15	5
え	ts		1.I	B	9	4	0)	持		Mappe			7		情	ارم برم	る戦	本を 手	6	7
直	NI.		C)	n	7	撩	a	2			<		11		移	7	酚	手	75	4
直す	戦		Ó	75	文	7	7	6P			E				X	专	1	13	3	
٤	時		13	a	を	ŧ	ζ	家			17		文		1	生		图	7	国
	14		3	本	認	0)	13	٧			VI		カド		7	R	の情	7	101	兲
自	制		7	当	4	73	17	(			a		13	1 -5	7	1	20/20	73	K	特
由	12		101	13	\	Y		7			13		13		19	(	描	A,	, O	81

1		To T	2		<u></u>	60	ک			1	1,							1 h		
映	13	(7)	争		D	顏见	良	13	10		th	ti	15.	7	V	101	9	為	<-	101
凾	足	(	0	7	7.	を	101	猩	芡		13	· · ()	1	縋	かい	ŧ	单	by	兵	11
P	支	1	歷	ih	き	遠ざ	- 9	月早	TO P		無	٥	武	· 1)	料	אל	靈	17	ヹ	<
小	運	原	史	101	歴	す	15	1	被		無意識	7	武器	3	地	制	ā	IT	p	質
該	4	爆	至	5	史	ij	Α	1	1	Barrer Barrer	额	3	女	ŧ	$\wedge$	限	選	4	万美	困
E	73	慎	を調	4	12	à	Y	V	7		9	7"	捨	止	赴	1	报	n	オ	13
を見	()	#2+	Λ	· ()	改	Λ,	感	73	V		7	潮行	1	on	<	4	0)	13	4	嗬
7	` \ \	て原爆質料館	20	ク	b	3	t"	101	73		5	<	戦	3	2	73	Á	۵	13	<
4	教	XO.	4	ŧ	る	歴	73	- )	13		13	学气	-11	2	٧	圧	由	今	遺	生
12	戦争	大	'n	0)	2	史	0	79	it.		戦	争	101	4	13	政	8	0)	族	生活
()	W,	久	13	\	Y	101	何	2	7		7	0)	的	も	73	9	满	th	1	
1	2	野	18	和	701	5	故	73	1		4	THE STATE OF THE S	逖	出	7	P	SE .	12	4	家
溪	7	野島	2	17	出	- N	11	K	本		V/	-(	tj"	出来	7	7"	9	5	n	族
戦手	12	0)	75	號	来	戒	15	と思	幽		7	4	出	18	ŧ	d	ч	٧	5	E
0)	79	壽	0	す"	15	8		7	57		歷	13	t	VI.	١	生	<	17	菱	硕
歷	h	カ"	夏	4	NI	٧	執手	۵			史	丸	2	0	VI.	治	食事	位旗	钗.	1
歷史	4		夏休	7	4	Ţ	1	丸	很裏			付	¥	150	わし	0	*	C)	ゥ	戦
交	14	入資料	4	7 7	13	7	0)	付	9		表	V	ŧ	情	11	大	```	``	Y	地
业	9		圣	13		継	倾	H	部		9	13	pt	Ļ	V	切	倒	食	周甸	^
),	13	館	制	戦		承	值	3	10		部	0	47	Q	7"	13	ŧ	Q.	PI	赴

1	1		太	<i>†</i> .				42				16ti			12	19	6	146	建	kn
7			/	13	V. (.	11	1.0	媯	101		101	(E)	上	0	(2	見	(3)	7.14	1,0	7/2
	-٧	7	平	U	2	便	1/2	17	17			ľ	8		\$	印	囱	1		额
3	. 7	3	洋	٨	特	17	P	Pa	p		為述	13	18	2	侧	1)	1	7	7	Z.
٦.	72	73	戦	13	攻	[2]	1	違	<i>b</i> \		承	Q	南年	ち	魚賣	¥	加加		X	整深
7	人	辫	戦争	11	好	天	至	U	9	No. of the last of		風	1	٨	19	7	9	7	尨	Ø
13	12	争	0)		5.03 5.03	友	X	tt	13		7	14	10.1	Y	15"	7	ld	4	1	1
	火	2	4		70	径	12	<	Ú		U	9	380	正	a	1	U	4	2	V
7	d	中	tj		2	À	9	回	カい		101	-	()	面	過	١	蔔	j	1	<
もう後展	W	1	9		6)	2	並	出			17	途	為选	101	5	学文	5	14	D	废
展	20	1	一寸		世	13	木	0	2		it	3	ü	3	カヽ	F	(	些	12	13
1)	13	?			13:	8	17	0)	0		h	辿	7	教	9	13	101	<u>(313)</u>	女	気
17	う	0)	今		存	13	2	tj	突		13	7	VI.	旁	育	海滨	ŧ	17	多過	19
出	ク	便	13		在	死	7	U	7		8	规	ζ.	4	を	中	A	好车	₹".	19
来	a	Ч	至		1	8a	述	净	動	Sudas pusas postupores e	4.	状	^'	V	自	存	過	せ		A
出来な	草村	芟	る		73		Λ'	凸	101		ク	13	3	う	17	N	玄	N	7	4
U	争	陶	3		事美	人	12	12	d		使	妇	73	事	7	2	9	今	LI	13
0	カバ	19	1		炙	人門	a	8	衝		命	1	8	夹	17	Y	2	かい	<	a
18	RE	횃	13		Ę.	南		4	鄭		尽	7	烠	te	13	12	Y	d12	中	戦争
4	2	50	勃力		13	園		а	9		カト	为	tp	を変	4	余	[7]	何	7	芽
17"	7	L	発		之	K			発		9	機	12	け	ti	1) "	Y	13	見	9

	7.	7			14	1 3					A	ho							16	
	#4	7	14	101	5	4	Υ.		Z		仓	部	9	ti	ya .	tj	4		像	18
Transcord (Bernat	13	ク	4	5	12	<b>ウ</b>	te	都	[3]		2	12	上	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	教	U	好	絲	を	["
and the second second	5	0	Y	, X	何	7"	h	合	档		12	11	13	a	0	th	0)	承	維	通
A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH	p\"	12"	```	145	度	13	12"	9	す		上	ч	成	長	の覚	13	の覚	to	継承	5
Control of the Contro	月	カト	1	1)	も	<b>N</b>	固	良	17	Hannestell	7"	101	')	3	杏	12	管	ろ	1	Ę
We also de la companya de la company	多	h	13	絲	专復	3		Y	H		願	tf	Ż	7"	W/,	日首		101"	J	祭
and the best of the second	る	١,	[8]	U.	岩	7	を決	專	h		4	C)	, ,	8)	17	[3]	X	為	7	()
	13	th		7		Y	9	12	14,		を	- 0	12	る	t	国见	が必要	9	1	液
and the second	٧	13	じ 過	V)	tj	水	1	科	ti		31	\$4	継	ts	h	当	ĮΫ	死	Y	さ
barris and a second	兲	1	ち	ねヽ	は	久	公司	5	4		4	tz	承	5	7	101.	).	q	W.	tì
	来	73	ŧ.	ti	4	平	偿	よ	tj		継	5	y	17"	Bio	付	73	7	U.	0
	誓	7	為聚	17	t	40	10)	7	u		2"	DI.	<b>\</b>	```	87	103	ti	ŋ	12	J
	南海	5	1)	h	in	17	4		Y		`		7	фц	1.	17	3	死	701	j
	X	13	扳	12"	7	訪	薄	福图	R	Salar palar Antonia	水	鲜争	願	13	L)	i,	ク	Ę	9	後
	N)	平	1	ts	(	h	h	18	ク		久	0	i i	5	3	101.	10)	360	0	世世
	13	40	7	4	24	ts	Ż.	9	a		F	38	を	12	Y	- Y	a	え		13
	彩	を	1	11:	7	V	せ	民			\$2	憶	見	4	17	訂	当	3		歎
	る	祈	7	C)	3	a	7	Ul			9	7	過	ŋ		()	当事	13		争
	為	る	h	0	0	ty	VI.	2			実	向	2"	冁	图	朱12	看	17	34	0
	13	٥	12"	7"	12"	12	<	y			現	3	1	推	11	h	1	٤, ١		S. S
L	4		-						1	1	110									20

## 指導者の言葉

本校では、「国語総合」の授業の中で、主体的に想像し表現する力を身に付ける指導を行ってきました。本生徒も創作活動をはじめとする言語活動の中で、自身が感じとったものや自身の心情を文章で表現するという力が身に付いてきたと感じています。

本作品では戦争の悲しみに目を向け,時代とともに我々の意識から戦争が薄れていくことに危機感を持ち,戦争の記憶を継承していくことの重要性を述べています。また,この読書をきっかけとして始めた平和学習を通して,感じた思いやこれからの平和への思いを素直かつ情感豊かな言葉で述べられている点が魅力の作品です。

広島県で生まれ育ち,戦争や平和について考える機会が多かった本生徒 だからこその行動や思い,言葉であるように感じます。